

# 発生時に外出していたら



## 街中・住宅街

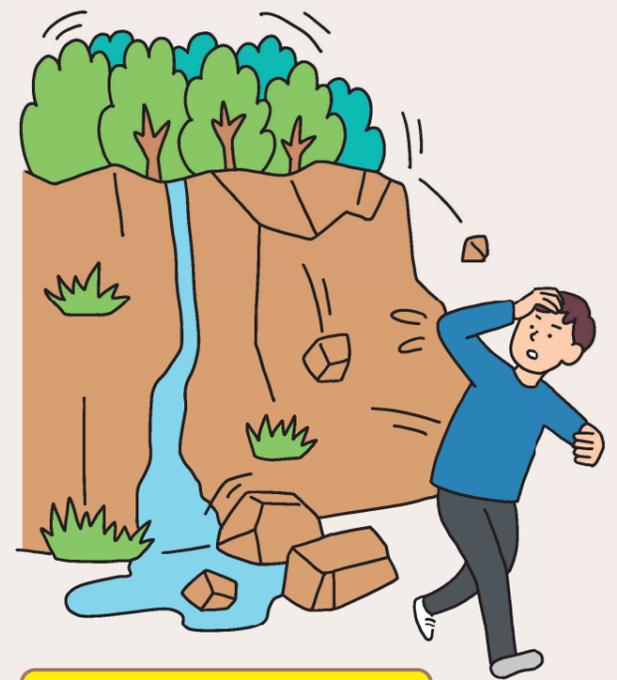
道路や駅周辺が混雑するほか、建物の倒壊に巻き込まれる可能性があります。手荷物などで頭部を守り、できる限り広い場所へ移動しましょう。



## エレベーター



自動停止した階で降りましょう。停止しない場合、すべての階のボタンを押し、最初に止まった階で降りましょう。閉じ込められたら通報し、救助を待ちましょう。



## 山間部

土砂崩れに巻き込まれるおそれがあります。速やかに斜面やがけから離れましょう。

## 学校

窓から離れて机の下にもぐり、ものが落ちてこない、倒れてこない場所で身を守りましょう。



## スーパーやコンビニ

転倒、商品の落下に注意しながら、すばやく陳列棚から離れ、広い場所や壁際へ移動しましょう。身動きできない場合は、買い物カゴやカバンで頭部を守り、その場にしゃがみましょう。

## 車の運転中

車を置いて避難するときは、できるだけ道路外の場所に移動をしましょう。やむを得ず道路上に置いて避難するときは、道路の左側に寄せエンジンを止め、エンジンキーは付けたままにするか、車内のわかりやすい場所に置きましょう。



### 共助

## 避難生活は地域で協力しよう



### 避難所ではルールやマナーを守って

知らない人が多い中で共同生活を送る避難所では、ルールやマナーを守ることが大切です。



### 備蓄品で生活する

ライフラインの停止により、災害後1週間は備蓄品での生活を強いられることもあります。



### 倒壊・半壊している家には入らない

倒壊・半壊している家や建物は二次被害が起る可能性があり、たいへん危険です。



### 自主防災組織を中心に行動

自主防災組織は、災害発生後の情報収集や初期消火活動、被災者の救出や避難誘導、避難所の運営などの役割を担います。